

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

半田市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県半田市

3 地域再生計画の区域

愛知県半田市の全域

4 地域再生計画の目標

住民基本台帳によれば、本市の人口は2009年1月の120,535人をピークに減少に転じ、118,635人まで減少したが、2015年以降は増加傾向にあり、2020年1月現在は、120,078人である。

年齢3区分別人口（国勢調査）は、年少人口は減少傾向であり、また生産年齢人口は1995年から2005年まで約1,000人～1,300人増加した後、2005年から2010年では約300人の増加と鈍化し、さらに2010年から2015年は減少に転じた。一方で、老年人口は1995年以降毎回3,000人を超える増加となっている。

人口構成割合においても、2005年に老年人口の割合（17.1%）が年少人口の割合（16.3%）を上回り、2015年は年少人口14.0%、老年人口23.0%と高齢化率の上昇が顕著に表れている。

人口動態について、社会増減は年により変動があるが、2011年から2015年まで社会減、2016年から2019年は社会増となっている。近年の社会増の要因の一つとしては、外国籍市民の増加が挙げられ、2018年から2019年の1年間で400人を超える増加となった。また、本市の人口動態においては、自然増減よりも社会増減が与える影響の方が大きい傾向にあるものの、2015年以降、自然増減のマイナス幅が大きくなっている。

2015年の推計では、本市の人口は2060年に84,000人まで減少することが見込まれ、人口減少に伴い都市のスポンジ化が進行すれば、市民生活を支えるサービ

ス産業や地域公共交通の縮小、また社会インフラの非効率や老朽化等により、生活利便性の低下を招くおそれがある。さらに、自治区をはじめとする地域組織の担い手不足に伴う地域コミュニティの機能低下や、次代を担う若年層の減少により、地域の歴史や伝統文化の継承が困難となるなど、本市の魅力の低下も懸念される。

国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」（以下「国の長期ビジョン」という。）では、「今後目指すべきは、将来にわたって、過度な一極集中のない活力ある地域社会を維持することであり、そのためには、人口減少に歯止めをかけなければならない。出生率が向上し、将来のどこかの時点で出生率が人口置換水準に回復することが、人口の規模及び構造が安定する上で必須の条件である。」としている。

こうした国の長期ビジョンや第1期総合戦略である「半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の期間（2015年度～2019年度）における本市の状況を踏まえ、引き続き、流入確保策や転出抑制策による社会増を図るとともに、特に若い世代の就労や結婚、子育て環境の改善・支援を強化し、出生率の上昇を図ることで、人口減少の抑制と調和のとれた人口構造を目指す。これらの実現のため、主に次の視点から国、愛知県をはじめ関係機関・企業等と連携して積極的かつ速やかに効果的な施策に取り組んでいく。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標1 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる
- ・基本目標2 市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる
- ・基本目標3 若い世代に選ばれる「まち」をつくる
- ・基本目標4 安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合 戦略の基本目 標

ア	有効求人倍率	1.6倍	1.6倍	基本目標 1
	製造業従業者	16,584人	17,500人	
	農業産出額	762千万円	765.5千万円	
イ	観光入込客数	168万人	183万人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.37	1.80	基本目標 3
	若い世代の転入者数 ※若い世代とは、39歳以下の 人	4,419人	5,500人	
	若い世代の転出者数 ※若い世代とは、39歳以下の 人	3,781人	3,700人	
エ	これからも半田市に住み続 けたいと思う市民の割合	57.8%	72%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

半田市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる事業

イ 市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる事業

ウ 若い世代に選ばれる「まち」をつくる事業

エ 安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる事業

② 事業の内容

ア 産業を振興し安定して働く場のある「まち」をつくる事業

経営の安定化や新規の事業展開、創業に対する支援をし、企業の競争

力向上を目指すとともに、賑わいの創出を図るため、商業の活性化に取り組む事業。

市内に企業が進出しやすい環境を整え、誘致活動を強化することで地域経済の活性化と雇用の創出する事業。

新規就農者を増やすとともに、農業者の「稼ぐ力」の向上を目指す事業。

求人と求職のマッチングに取り組み、若い世代を中心に就労を支援する事業。等

イ 市内外から人々が集い活発な交流のある「まち」をつくる事業

本市の歴史や文化に育まれた地域資源を活用するとともに、市民と市外の人との積極的な交流を促し、交流人口や関係人口の拡大を目指す事業。

隣接市に中部国際空港が立地する条件とリニア中央新幹線開通を見据え、インバウンド誘客を推進する事業。等

ウ 若い世代に選ばれる「まち」をつくる事業

妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援により父母の不安や負担の軽減を図るとともに、仕事と子育ての両立を支援する事業。

子どもたちが、まちの歴史や文化を理解し、ふるさとに愛着と誇りを持ち続けられるとともに、確かな学力を身につけ、豊かな心や健やかな体を育むための教育を推進する事業。

若い世代が定住しやすい環境を整備する事業。等

エ 安全で快適な環境のもとで安心して暮らせる「まち」をつくる事業

畜産農家と住民との相互理解を深めるなか、臭気への環境対策を進め、良好な生活環境を確保する事業。

災害への備えを充実するなど、安心して安全な生活環境づくりを推進する事業。

市民がまちの歴史や文化にふれる機会を増やし、ふるさとに誇りや愛着の持てるまちづくりを進める事業。

市民の日常的な健康づくりを促進するとともに、医療体制の充実に取り組む事業。

国籍・民族等の異なる人々が互いの文化的な違いを認め、対等な関係

のもとで共に生きていく社会の実現に取り組む事業。等

※なお、詳細は第2期半田市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ **事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

④ **寄附の金額の目安**

750,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度9月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに半田市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで